

政治学科 近藤春生

メッセージ

【ゼミの専門分野】

財政学、政治経済学、経済政策

【ゼミの目標と予定】

本研究会は、財政学・公共経済学をベースとして、政治と経済の関係や現実の経済政策をどう考えるべきかについて「政治経済学」的に学ぶことを目標とします。政治経済学に関する基本的な文献を読みつつ、計量分析の手法を学んだ後、「政治学」「経済学」の知見を動員して、パートゼミおよび卒業論文の執筆を行う予定です。スローガンは「よく学び、よく遊べ」です。イベントや他大学他ゼミとの交流を通じて、大学生ならではの充実したゼミ生活を実現してほしいと考えています。新規ゼミになるので、勉強する意欲は当然として、新しくゼミを作り上げる意欲に満ちた学生を希望しています。是非、有意義なゼミにしましょう。

【ゼミで身につく力】

- ・巷の俗説に騙されず、現実の政策を政治経済学的な視点で分析する力（論理的思考力）
- ・データを読み解き、計量分析する力（データを見る力・計量分析の技術）
- ・プレゼンテーション、研究論文を執筆する力（研究成果をアウトプットするスキル）

近藤春生研究会（2025年度）募集要項

テーマ：現代日本経済・財政の政治経済分析

1. ゼミの内容

現代日本の経済、財政を対象として政治経済学的に研究を行うことを目標とします。まずは、基礎固めとして、「財政学」を履修してもらいつつ、政治経済学に関する基本的な文献を輪読するとともに、基礎的な計量分析の手法を学んでもらいます。なお、計量分析の手法については、ゼロから学びますので、未経験者でも心配はいりません。その後、パートゼミを行う予定です。3年の三田祭終了後と4年は卒論の中間報告と執筆を行います。具体的なテーマ例としては、(教員の専門と関心を踏まえた例です。研究意義があればこれ以外でも可)。アベノミクス後の経済財政、ふるさと納税と地域活性化、交通インフラの地域経済効果、政治と経済政策の関係：選挙や政権の弱体化はバラマキにつながるのか etc.

2. ゼミの催しもの

本ゼミで学習・研究に注力し、学問に研鑽を積むことは最優先として、サブゼミ、他大学と

の合同ゼミ、合宿、三田祭、各種イベント等を必要に応じて行う予定です。ゼミの主役は学生の皆さんです。特に今年度はゼミ初代となりますので、ゼミを新しく作る気概を持った学生に参加してもらいたいと思います。

3. 評価方針

ゼミにおける学修内容、活動内容を総合的に評価して決定します。無断欠席、遅刻、その他ゼミ生同士、教員との信頼関係を損ねる行為は厳禁です。

4. 入ゼミ課題・選抜方法

(1) 選考方針

- ・ゼミは2年間で完結します。4年生までゼミを履修すること。
- ・勉学・学問に対する真摯な姿勢を望む。
- ・グループワークもあるので、協調性も必要。

(2) 入ゼミ課題と選抜方法

【2次募集】※2025年2月10日更新（赤字部分が修正、追記事項です。）

2025年2月20日(木)23:59までに以下の書類を添付し、eメールで提出すること。

※通常48時間以内に返信しますが、返信がない場合は再度送信して下さい。

- ・提出先 近藤春生 kondoh@seinan-gu.ac.jp
- ・書類 ①自己紹介、自己PR、志望動機、をA4用紙で1~2枚程度。
→自己紹介には氏名、所属学部学科、学籍番号、eメールアドレスを必ず含むこと。
- ②島澤論著『教養としての財政問題』を読んで、書評をA4用紙で2枚程度。
- ③これまでの成績のコピー（画像でも可）

上記エントリーが遅滞なく行ったものに対して、Zoom面接のアドレスと日時を通知する。

（なお、Zoom面接の実施は2025年3月2日~5日を予定。各日10:00~24:00で都合の悪い時間帯がある場合は応募メールに明記して下さい。）

書類と面接の結果を踏まえて、採否を決定する。

・2次選考に関して

2次募集における募集予定人数は10名前後を予定しています。3次募集は予定人数に達しない場合は実施するかもしれません。本ゼミは木曜日4限の予定です。あと、男女比を聞いて来る人がいますが、不純な動機で研究会を選ぶことはやめよう。